新エリー都防衛補完計画2

特殊戦力個体統制方案

ぎゅっ

え？お師匠さま！どこ行くんですか？

ああ、フーフー。防衛軍に行ってくる。今回は3日くらいかかりそうだな。

またですか？最近よく行かれますね…

きらっ

きらっ

あっ！お師匠さま、それなら帰りに…！

こつん

食べることしか頭にないな。

いたっ！

ふふっ、チャーシューまん帰りに買ってくるよ。

なでなで

へへっ！いってらっしゃい！

この二日間、お疲れ様でした儀玄様。

ははは

いや、手伝うって言っただけだし。

特別に上等なお茶もご用意しました。どうぞ。

飲み物はさっき飲んだから。

ああ、そうですか…

では今回…

このハゲ…

エーテル適合…

毎回こんなふうに露骨に見てきて…

だんだん不快になってきた…

ホロウで…

我慢にも限度が…

ぶるぶる

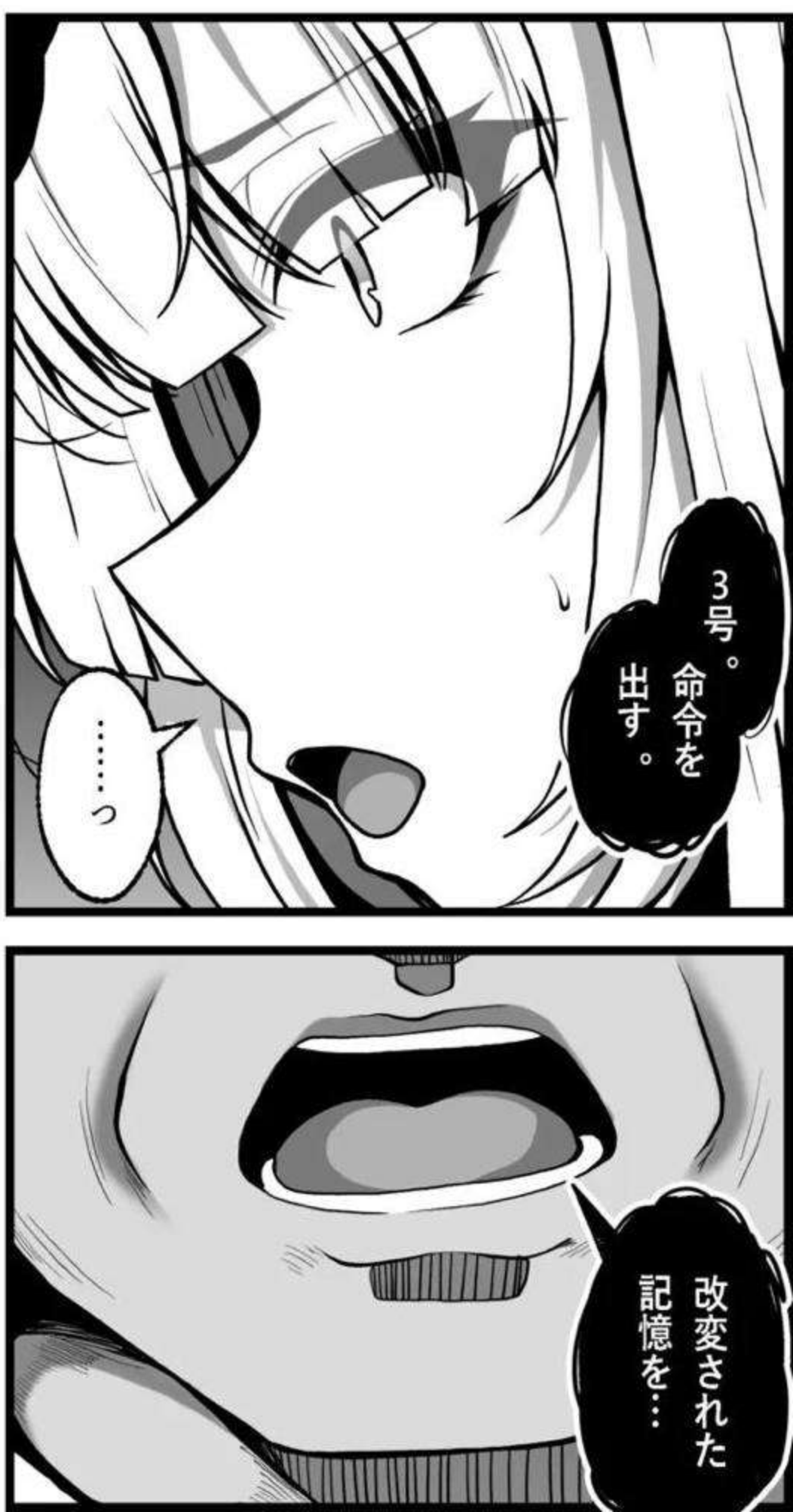
■■■

今…何て言った？
ああ、ご安心ください。
あ設よ聞トトリガーは聞き取れないように設定してありますので。

ん？

すっ
ふむ…では…
…？

思い出せ。
ぐっ
くっ…！
うっ…！


3号。命令を出す。
……っ
改変された記憶を…

あ

あ

あ…っ…

なんだ…
これは…

うっ
ううっ…！

この記憶は
一体…！

はぁ…

おや…
大丈夫ですか、
儀玄様？

はぁ…

すっ

私が
お手伝い…

ぴたっ

これは…予想外ですね…

ゆらり

ゆらり

はぁ…

ぶるぶる

ぶるぶる

はぁっ…近づくな…！

お前…！

はぁっ…

私の体に…何をした？

くっ！

黙れ！

い、儀玄様、落ち着いてください…

言え…今すぐ

落ち着いて、そのまま動くな

残念ですが、こういうのでは…

私には何の脅威にならない。

とんとん

体が…！

動かない…！

精神系の攻撃…？

どうやって？

ゆらっ

私にどんな危害も加えられない。

すっ…

…という命令を仕込んでおいたんだ。

その顔だと、理解できていないようだな。

お前…これは一体…

分かりやすく説明すると…

すっ

ふむ…こちらへ来て

おまんこを差し出してもらえるかな？

ふざけるな…

あ…

!?

びくっ

あ…！

体が…勝手に…！

ぶるぶる

こっすこっす

ぶるぶる

うっ…！

これで少しは状況が分かってきたかな？

では…
寝室へ
行こう

残りの
一日は、
私と一緒に
過ごしてくれ。

やはり…
君は
その姿が
一番似合う

…

お前…
何が
目的なんだ？

するっ

するっ

ははは、
その顔も
気に入った
まあ、
隠す必要も
ありまい。

ニヤッ

ぐっ

君は
虚狩りに
ついて
どう思う？

虚…狩り…？

ビリッ

ビリ

うっ…！

私はね…君のような怪物が、
ぎしっ
うっ…
あ♥
ぎしっ♥
こすっ♥こすっ♥
ぎしっ♥
たかが名誉職を与えられた程度で使命感を持って、
あ♥
人類のために忠誠を尽くすとは思っていない。
あ♥
うっ…♥
っ…！♥
やめ…ろ…！
ぎしっ♥
ぎしっ♥
ぎしっ♥
むしろ私が最も懸念しているのは…
びくっ
びくっ
はぁ…♥
こんな…馬鹿な…
はぁ…♥
びくっ
安全装置もない怪物が、ある日突然こちらに牙を向けることだ。
だから頭の中をしっかり弄って、首輪をつけてやろうというわけだ。
ぎゅうう
ふざけるな！人を何だと―

イっ…
あっ…♡
びくっ
びくっ
ぶしゅっ
ぴゅっ
ぴゅっ
何か勘違いしているようだが、
はぁ…
ぶるぶる
ぶるぶる
はぁ…
すでに首輪はついている。
これはただ私の趣味だ。
君をもっと飼いやすいペットにしてやろうというだけ♡

舌出しな。
ぎゅっ
あ…う…っ…！
恋人のようにキスしろ。
じゅっ♡
んんっ…！

また体が…
勝手に…！
ちゅっ♡
じゅっ♡
じゅっ♡
ちゅっ♡
ちゅっ♡
んっ♡
んおっ♡
くっ…さ…
こんな
男と…
キス…
気持ち悪い…
気持ち悪い
気持ち悪い…

気持ち
悪いはず
なのに…
ちゅっ♡
ちゅっ♡
どうして
だんだん…

だめ…
また…
いく…
いくっ…

はぁっ♥
はっ♥
気持ちいい…
軽くイったね？
びくっ♥
んんっ♥
びくっ♥
びくっ♥
びくっ♥
びくっ♥
びゅっ♥
びゅっ♥
びくっ
びくっ♥
ではそろそろ…
すっ
本番といきましょうか。
ぶぢぢぢ
そろそろ我慢できなくなってきたので。
はぁ
はぁ
私のキス、そんなに良かったか？
くっ…だま…れ…

よく見なさい
これからは
これが
君の
ご主人様に
なるので。

あ♡
あ♡

とん♡
とん♡

ビン

お…あっ…♡

なんだこれ…
いきなり…
下が…

う…♡

ドキ♡

ドキ♡

ふむ…
いいことを
思いつきた。

何？

思い出を
呼び起こして
みましょうか。

覚えてるか？初めてやった時もこのポーズで撮ったんだけど。

ぶるぶる

殺してやる…お前…

ぶるぶる

はは、その前に堕ちないことを祈るよ。

さて…柳君は堕ちるまで、

ぐっ

ずぶぶぶっ♥

ふざけるな…

半月ほどかかったが…

君はどうかな？

びくっ びくっ びくっ

こんな程度で…

うっ…♥ん…♥

うっ…！

こんなクズに…

ぎゅっ

ぎゅっ

びくっ

びくっ

びくっ

びくっ

絶対に…屈しない…！

全部入ったね♡

苦しそうだね？

うる…さい…大したことない…

絶対…

そう？

では面白いことをしましょうか。

は？

3号

…！

発情しろ。

び

な…

え？

キュン

キュンキュン

キュン

キュン

子宮が…！

ま…待て！これは…一体…！

あ…だめ…

言ったはずだもう首輪はついていると。

びくっ

びくっ

びくっ

びくっ

びくっ

あ♥

子宮が…熱い…！

キュンキュン

キュンキュン

これは想定外かな？

子宮に集中しろ

あ♥うっ♥

お…♥お…♥っ♥

はぁっ…♥

おおっ…♥

びくっ

びくっ

びくっ

びくっ

ぬちゃ

ぬちゃ

ぬちゃ

ぬちゃ

ぬちゃ

ぎゅうっ

動い…たら…だめ…

チンポが全部感じてしまって…

ぬちっ

ぬちっ

ぬちっ

あ♥

あ♥

やば…い…！

へえ…まだ？

くくっ…それだ、その目だ…その目があるから

ずぐりっ

あん♥

君が気に入っているっ！

あ♥

あ♥

おっ

だめ♥

ぱんっ

ぱんっ

ぱんっ

ぱんっ

ぱんっ

ぱんっ

ぱんっ

あ♥

あ♥

お♥

嫌…だ…♥

そろそろいい声出るようになってきたな。

でも体の方は違うみたいだな♡

ぎしっ

ぎしっ

ぎしっ

ぎしっ

んぁ♥

あぁっ♥

だれ…が

ぎしっ

ぎしっ

ぐぃっ

ぐぃっ

ぐぃっ

あぁん♥

つねるな…！

ずっ

ずっ

では最初の一発、しっかり受け取れ。

ザーメンを注がれる感覚、体に覚え込ませろ

あぁぁっ…！♥

あっ♥

ごーくっ♥
ごーくっ♥
びくっ
びくっ
びくっ
びくっ
おぉっ♥
うっ♥
とくん
とくん
ザーメンが奥に満ちていくのが、はっきり分かる…
絶対この感覚…ちゃんと覚えなきゃ…
屈し…なんで…覚えるんだっけ…
ちゅぱっ
ちゅっ
その顔、いいね。
続けよう。

そう、そこ。
おっ…！
じゅっ
じゅっ
じゅっ
じゅっ
じゅっ
なんで
私が…
こんな臭くて
気持ち
悪いものを…

しっかり…
しなきゃ…

あっ♥

ぱんっ

ん♥

あ♥

ぱんっ

ぱんっ

ぱんっ

体が…
勝手に…
反応しやがる…

おっ…
出る…！

おおっ♥
っ…♥

ぱあんっ

また…

ああ…
止まらん…！

あ…うっ
っ…♥

ぶるぶる

ぶるぶる

ぶるぶる

ごっぽっ

ごっぽっ

ん♥…

注ぎ込まれる
感覚…
気持ちいい…♥

ん♡
あっ…♡
もう少し速く動いた方がいいぞ…
ぬちっ
ぬちっ
ん♡
これでは一時間経っても射精できない。
は…っ♡
っ…♡
それとも…私と少しでも長くしたいのがな？
ん…っ…♡
ん♡
あん♡
黙れ…お前が…勝手に賭けたんじゃ…！
ぬちっ
あん♡
ぬちっ
ぬちっ
ぬちっ
ぬちっ

は…っ♥

早く…出して…やる…！ん！♥

ぬぷっ

ぬぷっ

ぬぷっ

せっかくチャンスをあげたのに…

じゃあ…そろそろ手助けしてやろうか。

ぎゅっ

さあ、

おおっ♥♥♥？

ずぶっ

ぐぐぐっ

こう！

おや…イってしまったか？
手伝おうとしただけなのに…
ぶるぶるぶるぶるぶるぶるぶるぶるぶるぶる
お…♡
うっ…♡
おおおっ…♡

これは…耐え…れないっ…！

ぶるぶるぶるぶるぶるぶるぶる

はは、気持ちよすぎて、膀胱まで緩んじまったか？

ぷしゅっ♥

ぷしっ♥

はっ…♥

びくっ♥

ふぇっ…♥

びくっ♥

びくっ♥

いい顔だ。

では君が先にイってしまったので…

勝てない…

お仕置きの時間だ。

ふ…へ…？

すっ

ぎゅっ

3号、命令する。
発情しろ。
あ…！

発情しろ 発情しろ
発情しろ 発情しろ
発情しろ 発情しろ
ドキ
あ♥
あ♥ あ… いや…
するな…
あ♥
ドキ
ドキ
あ♥
ドキ

だめ
キュン キュン
キュン
だめ だめ だめ…
キュン キュン
キュン

待て…
これは…
おま…
今入れたら
本当に…！

ずぶっ
お♥ おおっ♥ ！

ああ…イってる時にきゅうって締まるの、たまんねぇんだよ…

こいつものに…

ずぶっ ずぶっ ずぶっ ずぶっ ずぶっ ずぶっ

おおおっ…！

嫌だ！やめろ…

さっきイったばかりなのに！お願い！

ぱんっ ぱんっ ぱんっ ぱんっ ぱんっ ぱんっ

あ あ…！

頭がおかしくなる…！止まっ…

やっと泣き声が出てきたね。

ちゅぷっ

だけど、それは—聞きたい答えじゃない。

ずぶっ ずぶっ ずぶっ ずぶっ ずぶっ ずぶっ ずぶっ

あぁあぁ！

ずぶっ

負け…
負けました！
虚狩りでも何でもやりますから…
ぬちゅ
ぬちゅ
ぬちゅ
ぬちゅ
だから…お願い…
ぬちゅ
やめてください…！
やめて！
ぬちゅ
ぬちゅ
ぬちゅ

ええ、それが聞きたかった。
ぎゅっ
でも…
負けを認めた負け犬には…敗北のお仕置きを与えないといけない
ぶるぶる
ぶるぶる
ぶるぶる
ぶるぶる
あ…あ…
負けたって…言ったのに…
どうして…

おっ！♥
やめて！♥
イきたくない…！
身体が…完全にこいつのものになってる…
ぴしゃっ
ぴしゃっ
ぴしゃっ
ぴしゃっ
ぴしゃっ
やめて！♥
おかしくなる…
おかしくなるって…！
ぴしゃっ
さあ…
ぬちゅ
ぬちゅ
ぬちゅ
子宮を突かれるたびに…幸せが込み上げてくる…♥
うっ…！♥
もう…このチンポには…
ぐっぐっぐっ
負けまんこに濃いの一発くるぞ…！

おおおおっ♡♡♡

んん…

ん？福姐？

そこで何してるの？

あ！潘さん！

お師匠さまがまだ戻らなくて…

ああ…今日で3日目だったっけ？

チャーシューまん…

はは…

まあ…師匠ですし…

あっ♥

ぬぷぷ♥

ぬぷぷ♥

ごめん♥ごめんなさい♥

ぬぷぷ♥

ぬぷぷ♥

いく♥

ぬぷぷ♥

ぬぷぷ♥

ん♥

ぬぷっ♥

あっ♥

あ♥

いく♥いくっ♥！

特に問題はないと思うよ。